

第7回 北九州オンリーワン企業募集！

北九州市では、独創的な製品や技術、サービスを提供する優れた中小企業を「オンリーワン企業」として認定し、本市の看板企業として積極的にPRを行い、中小企業の成長を支援しています。

この制度は平成21年度から始まり、これまで28社が認定されました。今回も、オンリーワンの製品・技術・サービスを有する中小企業のみなさまのご応募をお待ちしております！

★前回（第6回）認定の「北九州オンリーワン企業2021」5社は、裏面をご覧ください



北九州オンリーワン企業

kitakyushu only one company

地域社会等に十分な社会的使命と責任を果たしつつ、オンリーワンの製品・技術・サービスを提供する、本市の看板企業となる中小企業

「地域社会に十分な社会的使命と責任を果たす」とは

- ・従業員の教育や育児サポート、障害者の雇用
- ・地域貢献活動や地元企業との取引、地元在住者の採用
- ・環境保全やリサイクル活動等の社会的活動
- ・ユニバーサルデザインやアフターサービス等の顧客対応などの取組を積極的に行っていること

「オンリーワンの製品・技術・サービス」とは

- ・国外あるいは国内市場において高いシェアを持つ製品
- ・他社に真似のできない独創的かつ高度な技術・サービス（たとえば、優れた特許・実用新案を有している、顧客サービスや販売方式が画期的である、革新的な品質管理・流通システムを構築している など）

対象企業 次の要件をすべて満たす方が対象となります。

- (1) 中小企業基本法第2条に定める中小企業者
- (2) 市内に本社を有し、市内で2年以上の事業歴があること
- (3) 市税を滞納していないこと
- (4) 発行済み株式の半分以上を大企業が単独で所有するなど、いわゆる「みなし大企業」ではないこと
- (5) 暴力団、暴力団員又は暴力団密接関係者でないこと

選考基準 応募資料などに基づき、次の項目を総合的に審査して決定します。

- (1) 製品・技術・サービスの独自性、先進性
- (2) 市場での評価
- (3) 経営の安定性
- (4) 社会的使命と責任への取組
- (5) 今後の事業展開

認定企業への支援

- (1) 認定式での顕彰
- (2) HPや冊子等によるPR・プロモーション
- (3) 大規模展示会等出展支援助成金への推薦（別途審査あり）
- (4) 中小企業海外展開支援助成金の特別枠設定（別途審査あり）
- (5) 北九州発！新商品創出事業「北九州市版トライアル発注制度」の申請要件対象 など

応募方法 応募書類を添えて、下記の申込先まで郵送、又はお持ちください。

- (1) 認定申込書 ※(1)、(4)、(8)は北九州市のホームページから様式をダウンロードできます。
- (2) 直近2期分の決算関係書類
- (3) 株主名簿（持株比率を明記）
- (4) 役員名簿（役員の氏名、読み仮名、生年月日を明記）
- (5) 履歴事項全部証明書（法人登記簿謄本）
- (6) 市税の納税証明書（市税に滞納がないことの証明）
- (7) 企業概要、製品紹介パンフレットなど
- (8) 暴力団排除に関する誓約書

募集期間 令和4年**10月3日**（月） から 令和4年**11月25日**（金）まで

募集のスケジュール（予定）

令和5年 6月頃 調査、審査を経て『北九州オンリーワン企業』を決定
12月頃 認定式を開催

申込先及び問い合わせ先

北九州市産業経済局中小企業振興課

北九州市戸畑区中原新町 2-1 北九州テクノセンタービル 1階

電話：093-873-1433 FAX：093-873-1434 担当：中川、柴田

中小企業振興課HP <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/san-kei/10700089.html>

北九州オンリーワン企業2021

(株)アステック入江

代表取締役社長 高橋 正幸
(小幡東区西本町3-1-1)

●廃電子回路基板からの貴金属及び銅・ニッケル等のベースメタルを回収する技術を利用し、再生金メダルの製作を手掛け、2021 世界体操・新体操選手権北九州大会などで採用。

エッチング廃液から重金属を分離回収し再生、再利用する、独自のクロードリサイクルプロセスを開発。



(株)九州機装

代表取締役 磯邊 謙一
(小倉南区戸畑西1-7-1)

●鉄道車両、船舶、バス等の内装の設計、製作、施工、メンテナンスまでワンストップで提供。複合パネル方式による製作で作業工数の削減、部品点数の低減による軽量化を実現。

平成筑豊鉄道「ことこと列車」、箱根海賊船「クイーン芦ノ湖」等、全国の観光列車や船舶の内装も手掛ける。



(有)ゼムケンサービス

代表取締役 籠田 淳子
(小倉北区片野3-7-4)

●建設業の女性社員や若手社員の育成に寄与したいとの思いから、早稲田大学産学融合国際戦略研究所と共同で、AI（人工知能）技術とAR（拡張現実）技術を利用した情報システムを開発。

iPad などを使って現場の画像を共有、画像と言葉で双方向の通信を行い、コミュニケーションが可能。



パイオニア工業(株)

代表取締役社長 秋山 茂樹
(門司区新町1-9-2)

●大小様々なペットボトルやポリボトルの生産量は、年間約1億9000万本、100種類以上に及び、中でも調味料向けボトルでは高い支持を得ている。使いやすい把手付きのボトルで複数の特許を取得。把手付き4Lボトルは、

現在、国内最軽量ボトルとして製造販売している。



富士岐工産(株)

代表取締役社長 真鍋 聡
(小幡西区本城4-8-16)

●転炉から排出された一酸化炭素や腐食成分を含んだガスをエネルギー源として再利用できるようにする、OGフードにて国内市場をほぼ独占。

OGフードの製作を一つの工場で完結できるのは、国内で当社のみ。品質、コスト、納期の面でメリットがある。



過去認定企業 PR動画のご紹介

北九州市動画チャンネル 北九州オンリーワン企業

